

楽じゃないけど 楽しい道を

京都市立朱雀中学校 進路指導部 2019.11.29 No.17

**Everybody
Should try.**
『誰もが挑戦すべき!』

京都府内公立高校 11月調査の結果発表

昨日午後に、11月の進路希望調査の集計結果が、教育委員会において報道機関に広報発表されました。教育委員会のHPに広報資料が掲載され、本日の京都新聞朝刊に掲載されました。3年生のみなさんには、HPに掲載される広報資料を配付します。今回発表されるのは、第一希望のみを集計したものです。大まかな動向はつかめませんが、細かく分析するためには少し情報が足りませんので、この数字を見て一喜一憂しないようにしてください。次の点を配慮しながら、12月の懇談に向けて、自分の志望校を固めて行きましょう。

①前期選抜は高倍率

普通科においては、前期選抜は定員の30%しか募集しません。したがって希望者総数が定員を下回っていても、3倍近くの倍率となります。

②中期選抜は「第1志望 第1順位」が命

中期選抜は、残りの定員の90%を、その高校を「第1志望 第1順位」で希望した者の中から選ぶステップ1と、残りの10%を、その高校を「第1志望 第1順位」とした残りの生徒と、他校を「第1志望 第1順位」とし「第1志望 第2順位」としてその高校を希望している者を合わせた中で判定するステップ2があります。このとき、ステップ1の合格最低点より、ステップ2の方が高い得点を要求される場合があります。この逆転現象は、人気校ほど小さく、定員ギリギリの高校ほど大きくなります。中期選抜では、「第1志望 第2順位」や「第2志望」の選び方が重要となりますので、今後の志願状況を注視しておく必要があります。

③志願状況は変わる

今回発表の集計結果は、11月中旬の希望調査の集計です。ということは、最終的な出願状況とは違う可能性があります。この数字だけを見て「こっちの高校の方が受かりやすそう」といって志望校を変えていると、いざ受検するときに困ったことになるかもしれません。自分の将来像、保護者の方や担任の先生と話してきたこと、自分の実力をもう一度しっかり見つめ直して、志望校を決めるようにしてください。

☆高等学校等修学資金貸与予約申請に関して(3年生)☆

進学するには、公立・私立を問わず、お金が必要です。お金の問題で、進学をあきらめることのないように、様々な支援制度が用意されています。以前お知らせし、希望のご家庭に申請書類をお渡ししましたが、今日までに申請書を提出されていないご家庭が多いです。申請に必要な書類をそろえて提出し、審査に通らなければ、修学資金を借りることは出来ません。申請書を受け取っただけで、通ったつもりになっていませんか？申請には、厳正な審査があるので、〆切間近になって、駆け込みで書類を提出しても「書類不備でダメ！」なんてことにならないよう、早めに申請手続きを行ってください。なお、つなぎ資金の申請は、最寄の社会福祉協議会となっていますので、お早めにケースワーカーまでご相談ください。

<提出締切日>

第一次締切 11月22日(金) / 第二次締切 12月10日(火) / 最終締切 12月20日(金)

※第一次締切は終了しました

書類訂正の時間が必要ですので、まずは第二次までに提出するようにしてください